

# 入間野小学校平成30年度前期学校評価



\*a (4点) b (3点) c (2点) d (1点) として点数化

\*3.4 点以上は A 2.8 点以上～3.4 点未満は B 2.8 点未満は C

NO	項 目	教職員	児童	保護者
1	児童は、分からないことは質問しながら学習している。	C 2.6	B 3.2	B 3.1
2	児童は、文字を丁寧に書いている。	B 3.0	B 3.1	B 2.9
3	児童は、進んで家庭学習に取り組んでいる。	B 3.0	B 3.2	B 3.0
4	児童は、自分から目を見て挨拶をしている。	B 3.0	A 3.4	B 3.1
5	児童は、「時間いっぱいもくもくピカピカ掃除」をしている。	B 3.3	A 3.4	
6	児童は、集団のために活動に取り組んでいる。	B 3.1	B 3.2	B 3.1
7	児童は、あきらめずに最後まで取り組んでいる。	B 3.1	A 3.4	B 3.1
8	児童は、進んで運動に取り組んでいる。	B 3.1	A 3.5	B 3.3
9	児童は、いざという時の行動の仕方が分かっている。	B 3.2	A 3.8	B 3.1
10	学校は、計算や漢字などの基礎基本を身につけさせている。	A 3.4	A 3.7	A 3.4
11	学校は、自ら考える力をつけている。	B 3.1	B 3.3	B 3.2
12	学校は、安心して過ごせるあたたかな学級をつくっている。	B 3.2	B 3.3	A 3.4
13	学校は、規律ある態度を身につけさせている。	A 3.5	A 3.5	B 3.3
14	先生は、困ったときに相談に乗ってくれる。	B 3.3	A 3.6	A 3.4
15	学校は、体力を向上させるための環境づくりに取り組んでいる。	B 3.1	A 3.8	A 3.4
16	家庭では、健康診断の結果を子供たちの健康管理に生かしている。	B 3.2		B 3.3
17	学校は、美しい環境を保持している。	B 3.2		B 3.3
18	学校は、教育活動を充実させるため、地域や保護者の支援を生かしている。	B 3.2	A 3.8	A 3.4
19	学校は、学年・行事等の会計の処理管理を適切にしている。	A 3.5		A 3.6
20	職員は、意図的・計画的に学年・学級経営を進めることができた。	B 3.3	※以下は、教職員の自己評価結果をお知らせしています。	
21	職員は、校内研修に意欲的に取り組み、自己研鑽に努めた。	B 3.3		
22	職員は、報告、連絡、相談を密にし、意欲的に職務遂行に取り組んだ。	A 3.4		

## 後期に向けた教育活動改善策・相手に届く声で話し、質問ができる子の育成

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。保護者のアンケート回収率は、90 %でした。この結果や各種学力調査を分析し、「2学期からの教育活動改善施策」を立案しました。

- 1年
  - ・日直を一人で行い、全員で音読し、朝のスピーチを行う。その際、質問を3つ出し答えさせる。
  - ・連絡帳やプリントへの名前書きから丁寧に書かせ、朱を入れたり書き直したりさせる。
- 2年
  - ・健康観察から大きな声で言えるようにし、朝のスピーチをさせる。
  - ・考えを持たせる時間を設け、共感的に聞けるようにする。・一文を正しく書けるよう指導する。
- 3年
  - ・朝のスピーチを行い、声のものとさしを意識させる。・友達のを考えをもう一度言わせたりする。
- 4年
  - ・音読や群読で声出しをし、考えを承認する。・課題の出し方を工夫し、話し方の技能を高める。
- 5年
  - ・声の出し方を指導し、考えがまとまるよう書かせる。・朝のスピーチ Q&A を行う。
  - ・心を開けるような人間関係づくりを行い、探求心を芽生えさせるような課題を提示する。
- 6年
  - ・声を出す訓練をし、意見を引き出したり、自信をもたせたりする。
  - ・正しいと判断したことは行い、注意を促すことは大切なことであると子供たちに言い続ける。